

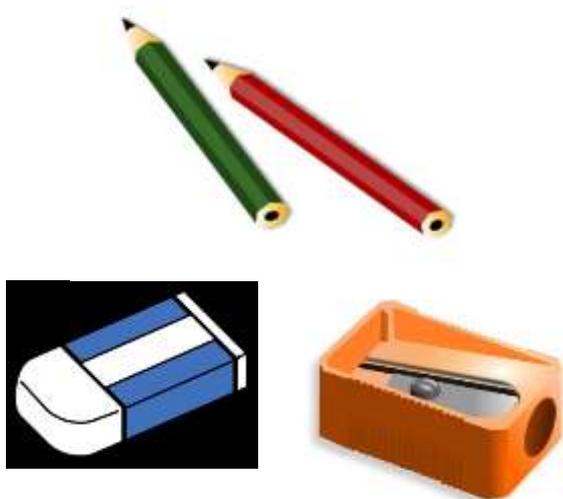
第3学年進路通信 ④

H27.10.6

模試はここからが大切

10/10 (土) 河合塾全統記述
10/17 (土) ベネッセ・駿台共催記述
10/23 (金)～24 (土) 河合塾全統マーク
11/6 (金)～7 (土) ベネッセ・駿台共催マーク
11/28 (土)～29 (日) 河合塾全統センタープレ

マーク模試で用意するもの



普段、あらゆるものを贅沢に浪費しているにもかかわらず、消しゴムはせせこましいものを使い、試験中に机の上から転げ落ち、挙手をして試験監督に拾ってもらっている生徒を見かけます。

マーク模試では程よく削られたエンピツであれば、実に手際よく塗りつぶすことができます。しかし、シャープペンシルの場合は時間もかかる上、誤りに気づいて消そうとしてもマーク欄にキズが付いていて消しきれないことがあります。ダブルマークとして処理されかねません。

おそらく、生徒諸君はこのような経験をしているはずなのに、なぜ、準備しようとしないのでしょう。「マーク」という行為でしか受験生は何も表現できません。受験勉強をしっかりと模試に臨んでいれば、そこに神経質になるのは必然的だと思います。

残念なことに、模試に遅刻する生徒がいるようです。遅刻しないまでも、開始時刻ギリギリに入室をして、満足な解答ができるのでしょうか。運動部で言えば、模試は、「大会に向けての練習試合」です。一つ一つに真剣に向き合うことが大切です。

ところで、本番の試験では、多様な受験生に遭遇するでしょう。頻繁に咳払いをする人、頻繁に鼻をすする人、貧乏揺すりをする人、独り言を言う人、等々。それらの様々な障害を乗り越えるためには諸君自身が揺るぎない実力をつけて臨むしかありません。

志望校ラインアップの点検を！

チェック①

学部・学科が揃っていますか？

チェック②

受験科目が揃っていますか？

チェック③

挑戦校・実力相応校・合格安全校のバランスが取れていますか？

志望校データに「無記入」や「判定不能」があることは、受験生としてとても恥ずかしいことです。

10月に実施される模試の結果が返ってくるころ、学級担任の先生方は、11月30日の「志望校検討会」に向けて資料まとめの作業に取りかかります。10月模試の結果を基に生徒諸君の合格可能性を判断するのです。そして、検討会では学年の先生を中心に多くの先生方が諸君の出願先について意見を交わします。

そこでの話を受けて、12月7日～11日に三者面談を行い、生徒諸君・保護者・学級担任とで方向性を定めることとなります。

国公立大学志望の場合には、センター試験受験後、自己採点結果を基に出願先を最終決定することとなります。しかし、センター試験の出来具合の良し悪しを想定し、複数の出願パターンを準備しておくことが極めて重要です。出願書類も出願可能性のある大学すべてについて、用意しておきましょう。